

NEWSLETTER

本校のSSH活動について

令和6年度よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の「文理融合基礎枠」の指定をいただき、本校が掲げる「持続可能な未来をつくるリーダーを育てるための、文理がとけあう科学技術教育」も、手応えとともに2年目の活動を無事に終えることができました。

本校の研究開発の核は、文系・理系という従来の垣根を取り払い、これからの社会で必要とされる「総合知」を備えた人材を育てることにあります。今年度からは普通科の生徒を対象とした「工学入門」の実施を予定しております。文系・理系を問わず、モノづくりの視点や論理的な思考プロセスを学ぶ機会を設けることで、科学技術をより身近なものとして捉え、自ら課題を解決していく力をさらに強化していく方針です。こうした日々の挑戦を通じて、生徒たちは科学の知識だけでなく、粘り強く取り組む力や仲間と協力する力、新しいものを生み出す創造性といった「非認知能力」を頼もしく伸ばしています。私たちは、こうした成長を新しい方法でしっかりと見つけ、次世代をリードする生徒たちをこれからも全力で応援してまいります。



新たな試み工学入門と国際共同研究

今年度からの試みとして「工学入門」と「国際共同研究」の2つのカリキュラムが文理の壁を取り払い現在本格的に動き出しております。具体的には「工学入門」ではテキストの立ち上げから行い、『Raspberry Pi Pico W』と言うキットを使って、ロボットをゼロから自分達の手で作り上げる実践を通じて工学の事に興味を持ってもらうような試みを行っています。また「国際共同研究」の方では、海外の高校と共に研究を行ったり、留学生の力を借りて共に学びの機会を増やして言っております。

高校【steams教育】

高校生の総合探究の時間では、教科を超え、様々な角度からみた探求活動を軸に課題を見つけ、自ら「問い」を立てる事が出来る力を育成し、生徒自身が課題研究に向かえるように指導し進めております。

1年生は【steams1】のカリキュラムをもとに自身の興味関心があるものを見つけることと、年度末に行われる研究発表会に向けて、自ら課題を解決していく力をさらに強化していきます。

2年生は、研修旅行を利用し様々な国の文化・歴史・直面する問題や日本とのかかわりなどを調べ、それぞれが課題を設定して解決への道を考える授業を展開します。

本校の研修旅行は全員が同じ場所を訪れるのではなく、今年度は8カ国から1つを選んで訪れます。1学期は候補となっている国から1つ選び、その国について調べ、パンフレットを作成する取り組みを行います。

そして高校3年生では、これまでの「理数探究基礎」の学びをベースに、生徒一人ひとりが自らの問いを立てる「1人1テーマ」の課題研究に励んでいます。

まだどの学年も取り組みが始まったばかりですのでこれからどんな風に形になっていくのか楽しみです。

総合、これからの総合

2年：視野を広げて「STEAM」

研修旅行

自分の目で見て、感じて、



他の活動の動き

- ・ SSH研究発表会（8/5）参加

【2026コンテストチャレンジ】

代表団：3年1組 ASPα 兵頭 成央 3年1組 ASPα 尾石 遼真

2年 7組 21番 R理 柏 宗佑

生徒研究テーマ：『大豆もチョコっと美味しくなりたい-100%大豆から作る代替チョコレート-』

- ・ 科学の甲子園ジュニア 2026科学の甲子園ジュニア一式

→ 中3生2名、中1生1名（計3名参加希望）